

法学委員会ジェンダー法分科会(第24期・第1回)
議事録

1. 日時

平成30年3月7日(水) 10時00分～12時00分

2. 場所

日本学術会議 5-C(1)会議室

3. 出席者

三成美保(委員長)、吉田容子(副委員長)、武田万里子(幹事)、谷口洋幸(幹事)、糠塚康江、廣瀬真理子、浅倉むつ子、戒能民江、紙谷雅子、後藤弘子、立石直子、中里見博、平山真理、以上13名

4. 議題

審議に先立ち、三成美保分科会世話人(仮委員長)により、定足数を満たしており、会議が成立していることが確認された。

(1) 役員の選出

委員自己紹介ののち、出席委員による互選の結果、委員長には三成美保世話人が選出された。その後、三成委員長により、副委員長には、吉田容子委員、幹事には武田万里子委員と谷口洋幸委員が指名され、承認された。

(2) 第24期の活動方針について

冒頭、三成委員長から、22期、23期における日本学術会議のジェンダー平等に向けての取り組みと成果、24期の取り組み状況について、説明があった。

24期ジェンダー法分科会の課題について、審議の結果、(1)法政策の検討と提言をジェンダー視点から行っていくこと、その際、①女性差別撤廃委員会「総括所見」のフォローアップ、第9回報告との関係を踏まえること、②刑法改正および民法改正の問題にどう取り組むか検討すること、(2)随時、緊急の課題に取り組むこと、(3)他の分科会との協力連携をはかること、(4)ジェンダー系学協会と役割分担をはかっていくこと、を確認した。

具体案を、次回委員会で、検討する。

(3) その他

今後、委員会の開催予定日は、5月、7月、9月の平日で調整することになった。

以上